

01.『目覚めた森で、エルフさんにおならで介抱される』より

さあ、まずはお体の力を抜いて...それから、目を閉じて。

すう...はあ....。

そうです、そのまま....。

んっ....。

〔空気の抜けるような、かすかな音が聞こえる〕（00 分 26 秒〜）

ふう....。

さあ、ゆっくりと、息を吸って...吐いて....。

いきますよ...よろしいですか？

...ん。

〔控えめな音とともに、エルフの腹のなかの香りが放たれる〕（00 分 46 秒〜）

はあ....。

このままわたくしと、お体を合わせて。

真正面からぴったりと....。

旅人様の熱くて硬いもの...腹のところに、感じます。

っ....。

〔ごぼぼ、と下腹部の震える感触が、へそに押し付けられたペニスを伝う〕

くすくす....。

はい。また、出そうです....。

よろしいですか？

んっ....。

〔静かな音とともに、エルフのおならが森に放たれる〕（01 分 29 秒〜）

んふ....。

ふふっ...お分かりに、なりましたか？

腹がわずかに、へこんだのが。

さあ、お鼻からゆっくりと息を吸って...お口から、吐いて....。

...んっ。

〔熱くて長いすかし屁が、森の空気のなかに攪拌されていく〕（01 分 59 秒〜）

ふー....。

02.『泉の中でエルフさんに尻コキされながら...』より

...ふふ。

よろしいですよ...？

わたくしの髪にお鼻をうずめて、そのままゆっくりと深呼吸なさって。

〔腹がごぼ、と鳴るかすかな音〕

んっ....。

いきますね...？

ん....。

〔水のなかでそっとおならをする音〕（02 分 28 秒〜）

ふー....。

えへへ、水の中でしてしまいました。

すん、すん....。

やっぱり、くさいですね？えへへ....。

旅人様...どうぞ、わたくしの尻に、そそり立つものをあてがって...？

んっ....。

〔水のなかでごぼ、おならをする音〕（03 分 01 秒〜）

ふー....。

ふふ...あそこがぴくんってしましたね...？
感じますか...？
ぴったりとあてがった裏のすじを、熱ーい気泡がなでてゆくのを。
んっ...。

〔水のなかでごぼり、とおならをする音〕（03 分 26 秒～）

んふ...。
ふふっ。けれどこれでは...匂いが混ざってしまいますね...？
わたくしの髪から香る匂いと、わたくしの放ったマナの匂い...。

03.『エルフさんに乳首をいじられながら...』より

...旅人様？
抱きしめて、くださるのですか...？
...ふふっ。本当に、変わったお方。
このままずっと、こうしていきたい...。

っ...。

〔腹がごぼ、と鳴るかすかな音〕

えへへ...。
よろしい...ですか？
では、このまま...
んっ...。

〔控えめなおならの音〕（04 分 28 秒～）

んふ...。
...もっと、欲しいですか？
わたくしのくさくて恥ずかしい...お・な・ら♡
ふふっ、よろしいですよ...。
いま、この場所において、この身はあなた様のものなのでから...♡
...やっ、あんっ、旅人様っ...♡
だめ...そんな、いまお腹さすったら...おっきいの、出ちゃ...ん...！

〔勢いよくおならが放たれる大きな音〕（05 分 12 秒～）

やだ、ごめんなさい...わたくし、はしたない音...。
...もう、旅人様ったら。仕返しです...♡
ふふっ...。
感じますか？旅人様のかわいい、小さな乳首...♡
くりくり...こちょこちょ...♡
んっ...。

〔からかうようなすかし屁の音〕（05 分 48 秒～）

んふ...。
えへへ...。

04.『エルフさんのお腹の音に耳をすませながら...』より

どうぞわたくしに、お体を預けて...。
そう。わたくしのお腹に、来て...？

〔腹のなかにこだまする様々な音〕

んっ...わかりますか？
わたくしのおならが、できる音。

ふふっ...はい、旅人様。出そうです...♡
お腹にぴったり耳を当てたまま、わたくしのおなら...お聞きなさって...?
ん...。

【お腹ごしにおならが放たれる低い音】 (06分44秒～)

んふ...。
ふふっ...お腹ごしに直接、聞かれてしまいましたね?
いかがですか...?
森の恵みの匂い、でしょ...?
んっ...。

【お腹ごしに控えめなおならが放たれる音】 (07分06秒～)

ふー...。
ふふっ...マメと、タマゴの匂い...でございますか?
やだ...♡
わたくしが昨晚いただいたもの...ぜんぶ、嗅がれてしまいましたね...?
ん...。

【お腹ごしに長いすかし屁が放たれる音】 (07分29秒～)

んふ...。
いまはわたくしに、身をゆだねて...。

05.『エルフさんのやわらかいお尻に顔をうずめながら...』より

た、旅人様...本当に、よろしいのですね?
では、出口にお鼻をあてがって...?
っ...。

【ごぼり、と音を立てて彼女の腹が震える】

いきますよ...?
この森に生ける命の恵み...あなた様に、ささげます...。
んっ...。

【目の前の門から吹き出した熱風が、鼻先へと吹きかけられる】 (08分14秒～)

はあ...ん...♡
気持ちいい...♡
どうぞ、胸いっぱい、深呼吸して...。
んっ...♡

【再び鼻先に、熱いそよ風が吹きかけられる】 (08分34秒～)

んふ...♡
ふふ...旅人様。どうぞもっと、密着なさって...?
そう。顔をぎゅうっと、うずめなさって...。
んっ...。

【ごぼごぼ...と怪しい音を立てて、彼女のなめらかな下腹部が張りつめていく...】

ふふっ...わかりましたか?
お尻の穴がひくひくっ...と動いたの。
いきますよ...♡
お腹がゴロゴロするエルフの、朝の一番濃いおなら...
どうか余さず、受け取って...?
ふ、ん...♡

【密着させた鼻孔に、熱い香りがそのまま注ぎ込まれてくる...】 (09分24秒～)

は...あ...♡
ああ...わかりますか...?
あつーい香りがお鼻をのぼって、胸をいっぱいに満たすのが...♡

もっと、わたくしを感じて...？

んっ...♡

【マメとタマゴに似た恥ずかしい香りが、鼻孔を満たしていく...】（09 分 48 秒～）

はぁ...♡

旅人様の熱い呼吸、お尻の穴で感じます...♡

ふふっ...くさくって、気持ちよくって、頭がクラクラしちゃいますね？

ん...♡

【エルフの腸内で熟成されたマナが、鼻孔を埋め尽くし肺を満たしていく...】（10 分 11 秒～）

ふー...♡

わたくしが食べた森の恵みが、おならとなって放たれて...。

鼻から入って、胸を満たして、痛みと疲れを和らげてゆく...。

ん...♡

【ないまぜになった森の香りが、嗅覚と意識を急速に塗りつぶしていく...】（10 分 33 秒～）

んふ...♡

悩み、苦しみ、すべて忘れて...今だけはただ...。

安らかに...。